

平成 29 年度 第 3 回第 2 次安曇野市文化振興計画策定委員会 会議概要

- |   |           |   |
|---|-----------|---|
| 1 | 会議名       | 平成 29 年度 第 3 回第 2 次安曇野市文化振興計画策定委員会  |
| 2 | 日時        | 平成 29 年 7 月 6 日 午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで                                |
| 3 | 会場        | 安曇野市役所本庁舎 2 階 会議室 201   |
| 4 | 出席者       | 笹本委員長、古畑副委員長、金井委員、伊澤委員、三好委員、片桐委員、古根委員、丸山委員、鈴木委員、                          |
| 5 | 担当課出席者    | 山田教育部長、那須野文化課長、三澤文化振興係長、財津博物館係長、山下文化財保護係長、丸山文化振興係主事、堀文化振興係員、大月安曇野文化財団事務局長 |
|   | 公開・非公開の別  | 公開  |
| 7 | 傍聴人       | 2 人 記者 1 人  |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成 29 年 7 月 18 日  |

協 議 事 項 等

○会議の概要

- 1 開 会 (那須野文化課長)
- 2 協 議
  - (1) 取り組み方針について
  - (2) 施策の大綱について
  - (3) 安曇野市の特徴的な文化について
- 4 閉 会

○協議概要

(1) 取り組み方針について

- 資料内容説明 (事務局)
- 委員からの意見

委員長 ・ 施策番号 1101 の取り組み方針について、説明が長すぎるので「自然と触れ合い楽しむ中で」の文言はいらんと思う。

- ・ 施策番号 4104 の取り組み方針について、「博物館の企画展等での活用を図ります」とあるが、民俗資料について特筆すべきではない。

委 員 ・ 施策番号 3101 の取り組み方針について、「市民ボランティアの養成など、学芸員の活動を補うとともに」とあるが、学芸員とボランティアの役割は別。

・ 施策番号 3108 の取り組み方針について、「自己評価を行い、事業の点検を行います」とあるが、この施策のみ“評価”という記述があるのは不自然。記載するのであれば、施策全体について行うようにしてはどうか。

- ・ 施策番号 3201 の取り組み方針について、「インターネット」と「SNS」が併記されているのはおかしい。他の個所についても確認をすること。

委 員 ・ 施策番号 3107 の現状と課題について、「安曇野市にとって適正な規模の市民文化ホールの整備について要望があります」の記述は、市民アンケートの結果を受けてのものなので、適正な箇所に移動してほしい。

- ・ 要望があつてその後どう対応するか書かれていない。財政悪化という理由はただのうたい文句である。若い世代を惹きつけるために、文化の中心となるホールは必要である。
- 委員長
- ・ ホールを整備するには財源が必要であり、整備後も多額の維持費が必要になる。安曇野市全体にとって本当に今以上のホールが必要かどうか分からない段階で、整備を念頭に置くことはできない。
  - ・ 個人が欲しいものを列挙するのではなく、どうしたら安曇野市の文化をより良くすることができるのかを考えて、市全体が協働してどのように動くべきか、共通認識として必要な事項を載せていきたい。
- 委員
- ・ 施策番号 2202 の取り組み方針について、育成会単位で学習できるような機会を設けるようにしてほしい。
- 委員長
- ・ 子どもたちに対してどれだけ配慮ができるかが文化振興計画の特徴になるので、この部分については文章を再考してほしい。
- 委員
- ・ 施策番号 3104 について、各公民館には映像が見られる機器はあるのか。公民館活動の幅を広げるためにも必要ではないか。
  - ・ 施策番号 4103 の取り組み方針について、小中学校や公民館など、活用の場を広げることが有効ではないか。
  - ・ 施策番号 3201 について、現在中学生以下の入館は無料だが、高校生以下にするなど幅を広げてはどうか。
  - ・ 施策番号 4101 の文化財マップなどは、全戸配布することはできないか。
- 事務局
- ・ 中学生以下及び市内在住の 70 歳以上の方が入館無料というのは条例で定められており、条例にない事項を記載することはできない。しかし、多々意見のある中で、そのような課題があるのは承知している。
- 委員長
- ・ 計画に挙げたものは、市として実行していかなければならない。条例で決まっていることを、こちらで縛ることはできい。
  - ・ これからは市を超えた広域の連合体としてやっていかなければならない。周りがある物を同じように要求していくのではなく、メリハリをつけていく必要がある。
- 事務局
- ・ 育成会や公民館設備の課題については、生涯学習計画にかかわる部分が大きいので、意見をいただいたことを担当課に伝えたい。
- 委員
- ・ 施策番号 2101 について、先人の顕彰を行っている施設が老朽化しているようだが、10～30 年先も存続できるのか。基幹博物館の展示の一つとして統合することを考えてはどうか。
  - ・ 施策番号 4101 について、道祖神と共に千国街道も一つの文化財としてとらえ、松本市と連携しながら活用してほしい。
- 委員長
- ・ 先人の顕彰については、事業として継続するとされており、問題はない。

- ・ 「これまで評価の進んでいなかった」とあるが不要ではないか。先人の掘り起こしを行っていくという一文があればよいと思われる。
  - ・ 道祖神は後述の写真の中で、代表的な文化財として掲載すれば問題ない。
  - ・ 細かい事項を大綱に盛り込むのではなく、より大きな視点から、安曇野市の文化振興のためにどのようなことに取り組むべきかを挙げてもらいたい。
- 委員
- ・ 施策番号 3302 について、交流学习センター・公民館を使用するときそれぞれの館に減免申請書を提出しなければならないが 1 枚の申請書で減免申請をすることはできないのか。
- 事務局
- ・ それぞれの施設が状況を見ながら、実情に合った料金を設定し、各施設ごとに運営している。意見をいただいたことを担当課へ報告しておく。
- 委員長
- ・ 「文化芸術団体を把握し、適正な支援を行います」や「適正な金額に改正し」といった文言の中に含まれる内容なので、問題ないと思われる。
- 委員
- ・ 「文化芸術団体」にはどういった団体が含まれるのか。
- 事務局
- ・ 一般的に文化芸術的な活動を行っている団体はすべて含まれる。芸術文化協会もこれに類する団体であると考えられる。
- 委員
- ・ 施策番号 3301 の施策例について「適正規模な文化事業」、「適正な規模の自主公演」とあるが、「規模」は不要と思う。
- 委員
- ・ 公民館の利用率が低い現状があるので、何か取り組みを考えてほしい。
  - ・ 高校生の減免についても記載して欲しいところであるが、条例により決まっているということなので、また今後の運営の中で考えていってほしい。
- 委員長
- ・ 高校生がたくさん来館してくれるような状況を作れば減免の必要性について、今後議論もできると思う。
- 委員
- ・ 大町市では北アルプス国際芸術祭が開催されているが、安曇野スタイルを市が協力して芸術祭のような事業にしてはどうか。
- 事務局
- ・ 安曇野スタイル事務局としては、市との関係をどう考えているか。市と協働で実施したいのか、あるいは独自の活動としたいのか、今後の方向性があれば知りたい。
- 委員
- ・ 穂高交流学习センター「みらい」に共催を、市には後援をお願いしている。
  - ・ 代表の考えによるところが大きい。
- 委員
- ・ 事業内容については、現状では文化的な活動としているが、作家側からはもっと集客をしたいという声もある。全体として商工観光に重点を置くのか、文化に重点を置くのか、方向性を検討中である。
- 委員長
- ・ 施策番号 5302 の取り組み方針では、過去のものにしか触れていないので、ここに「新たな文化活動の創造を目指して」などといった文言を入れて、この中に含めることにしてはどうか。
  - ・ 細かく列挙すると、あれが足りない、これが足りないといったことになる

ので、より大きな視点で、全体を包括するような形で記載していきたい。

- 委員 ・ 安曇野スタイルネットワークについては施策番号 5202 の内容の部分に明記されているので、問題ないかと思う。
- 委員 ・ アーティストインレジデンスについて、メリット・デメリットをどのように考えているか。
- ・ 地域おこし協力隊というものがあり、これに参加している作家もいるが、このような事業との住み分けはどのように考えているか。
- 事務局 ・ 現状としては具体的には考えていない。近隣の自治体で取り組みが始まっており、地域の人材育成につながる一つの手法と考えられるので、10 年先を見通したときに、今後研究を進めていくという意味で記載している。

## (2) 施策の大綱について

### ●資料内容説明（事務局）

### ●委員からの意見

- 委員 ・ 大綱の作り方はこの方向性でよいと思う。
- ・ 段組み等は最終的にきれいに見やすいものにしてほしい。
  - ・ 大綱の中にも写真を配置できないか。
- 委員長 ・ 市民に手に取ってもらえる、読みやすい冊子を目指して作成して欲しい。
- 委員 ・ 3 頁の施策例について、「お囃子の録音・採譜」とあるが、映像の保存についても入れてもらいたい。
- ・ 9 頁デジタルアーカイブの推進について、「資料保存を図って」とあるが「資料保存・活用を図って」としてほしい。
  - ・ 8 頁無形文化財の継承について「取材と記録化を進めていく」とあるが、を「取材と記録化を進め活用していく」としてほしい。
- 委員長 ・ 10 年先を見据えて、施策の幅が広がるような文言を入れていただきたい。
- 委員 ・ 施策例について、施策番号 5304 に「大学等との連携の推進」を追加して欲しい。また、文化の多様性を担保するための「移住促進」について記載して欲しい。
- ・ 新たな近代化遺産・現代遺産といったものの発見について盛り込んで欲しい。記載する場所は検討していただきたい。
- 委員長 ・ 安曇野市は信州大学と連携を結んでいる。さらに推進するという意味でぜひ入れていただきたい。
- ・ 移住促進についても、文化的な部分からできることがあるかもしれない。
  - ・ 文化は発見し認識することでさらに高まっていく。市民一人ひとりが安曇野市の文化を発見していくというようなことをどこかに入れて欲しい。
- 委員 ・ 中房川の水力発電や天蚕など、産業遺産についても明記して欲しい。
- 事務局 ・ 産業遺産も文化財に含まれている。8 頁に文化財についての取り組みが記

載されており、この中でどのような文化財があるのか、分かりやすく紹介する記述を付け加えたい。

委員 ・ 11 頁取り組み方針の②について、「文化芸術活動」の前に「世界に開かれた」というような文言をつけてはどうか。

委員長 ・ 大きな形容詞がつくと、活動の内容がそれに縛られてしまう可能性がある。事務局で調整して欲しい。

### (3) 安曇野市の特徴的な文化について

#### ●資料内容説明（事務局）

#### ●委員からの意見

委員 ・ 風土について、光城山の桜の昇り龍の画像を入れてはどうか。

委員長 ・ 桜の昇り龍は入れた方がいいと思う一方で、自然破壊の典型例でもある。外部からの批判も考慮したうえで、入れ込んでみたい。

委員 ・ 歴史について、歴史的建造物というくくりを一つ設けて、その中で穂高神社や礫山館などを建物として掲載してはどうか。

委員長 ・ これから掲載していく中で一つの手法として検討したい。  
・ 安曇野市の文化財は非常に多様。ここに挙げることによって文化財として認識してもらえと思う。

委員 ・ 風土について、明科にヘイケボタルが生息している。撮影は難しいかと思うが掲載してはどうか。

委員長 ・ 自然と文化を大事にしている地域、夜の暗さが認識できるということが示せるので良いと思う。

・ 写真を掲載するにあたっては意図を込めたい。事務局で対応してほしい

委員 ・ 有明神社の門・天井絵などを入れてはどうか。

委員長 ・ 候補はたくさんあると思う。後々絞ることになるので、今の段階でできるだけたくさん挙げておいてほしい。

・ 前回掲載したのものでも必要なものは引き続き掲載したい。

委員 ・ 光久寺や満願寺の画像も欲しい。

・ 安曇野スタイルや学校の音楽祭などの活動中の写真もほしい。

委員長 ・ 写真を持っている委員は写真の提供に協力していただきたい。

・ 人が写っていて、動きのある写真をぜひ使いたい。

委員 ・ 人物の部分について、その人が何をして何を遺したのかわかるようにするために、作品などの画像と人物の画像を併せて掲載してはどうか。

委員長 ・ 分かりやすくなるように画像の使い方を工夫して欲しい。

・ 特別な人だけが安曇野を作っているわけではないという意味で、お祭りなどの写真で大勢の人が写っている写真を使っていきたい。

委員 ・ 新田区の福俵引きについて、行事としての画像だけでなく福俵自体の写真

が欲しい。

- ・ 学びとふれあいの部分で、子どもたちがお囃子を演奏している写真を入れてはどうか。

- ・ 風土の部分で、安曇野の四季の風景を載せてもらえればと思う。

委員長

- ・ 四季感が味わえるように、写真を選びたい。
- ・ 古くから伝わっているものをだけではなく、新しく作ろうとしている文化についても視点を置きたい。

- ・ 文中でふれられない部分は写真を使ってふれていきたい。

委員

- ・ 拾ヶ堰の写真で、梓川と交差して出てくる部分の写真が欲しい。

委員長

- ・ いつも同じような写真ばかり使わないという視点も大事である。

委員

- ・ 学びとふれあいの部分で、地域の人が講師を務めている、学校の総合学習の様子が載ればいいかと思う。

委員長

- ・ 学んでいる姿は写真としてぜひ入れたい。

委員

- ・ 近代化遺産を大切にしたい。現状として価値づけが決まっていなくても、目につく街の雰囲気を作っている建物が取り上げられれば良いと思う。
- ・ 一番年代の新しい建物として、何を載せられるかという所は一つのポイントだと思う。

- ・ 飲み屋街なども、街の風景を作っているものとして印象深いと思う。

委員長

- ・ 写真は文章でできない訴えかけをするものなので、ぜひ検討したい。
- ・ 建物についても、新旧にかかわらず、ぜひこれを載せたいというものをどんどん挙げてもらいたい。

委員

- ・ 文化財に入ると思うが、鉄道遺産として明科廃線敷を掲載したい。

委員長

- ・ 色々な形で活用されている場所なので、案として入れたい。

委員

- ・ 旧穂高宿の街並みには、明治・大正・昭和のいろいろな建物が残っているので、撮影してみるとよいと思う。

委員長

- ・ 安曇野市にこんないいところがある、という発見が大事である。
- ・ 安曇野らしい、メッセージの込められた写真を選びたい。
- ・ 写真について、データをお持ちの方はご協力いただきたい。

#### ○次回会議予定について

事務局

- ・ 次回の会議は8月24日(木)を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。本日は長時間にわたりありがとうございました。

以上

※会議概要は、原則として公開します。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。